

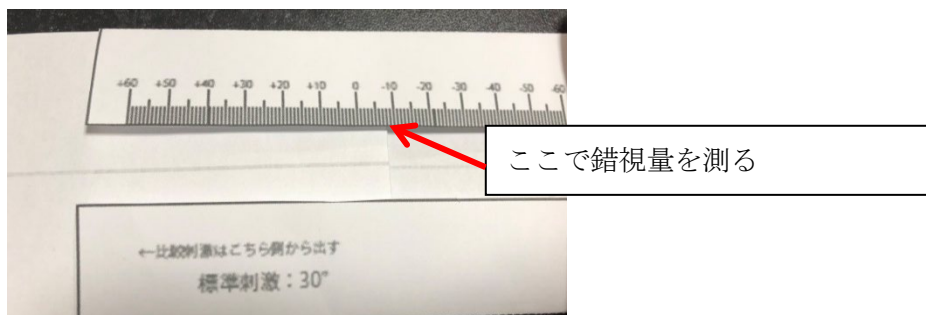
ミュラーリヤー実験を自分で体験してみよう！

社会学部社会学科 WEB 体験授業用実験素材

教員：社会学部社会学科 小野田 竜一 講師

実験器具の作り方と実験のやり方

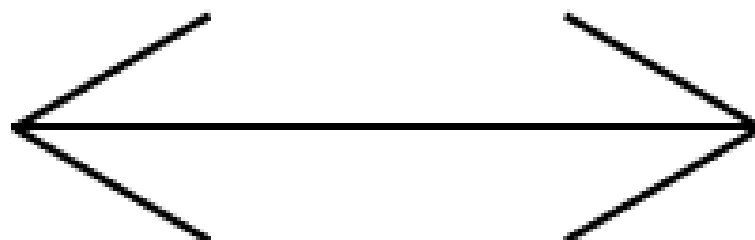
1. 紙を印刷する。
2. それぞれの器具（標準刺激2種類と比較刺激）を切り取る。
3. 標準刺激を点線に沿って山折りする。
4. 比較刺激を標準刺激の2種類のうちのいずれかに入れ込んで使う。
 - その際の注意点
 - 標準刺激の裏に「比較刺激はこちらから出す」という表示がある。それにしたがって、その方向から比較刺激を入れる。
 - 比較刺激にも左右の違いがある。必ず線が途中で途切れている方が外側に出るように入れる。
5. 比較刺激を動かして、標準刺激の真ん中の長い線の長さど、比較刺激の線分の長さが同じ長さに見えるように調節しよう
6. 調整が終わったら、裏側に書いてあるメモリを見る。
比較刺激の端がメモリのどこを指しているのかを見て、それを記録する。
これが錯視量と呼ばれるもので、標準刺激の真ん中の長い線の長さど比較刺激の線分の長さが、実際はどの程度異なるかを示している。



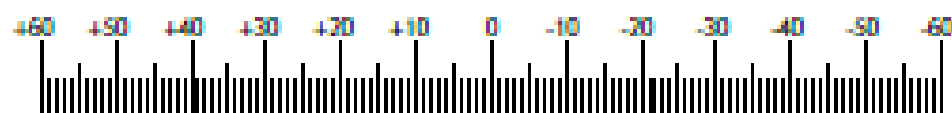
←比較刺激はこちら側から出す

標準刺激：30°

<山折り>



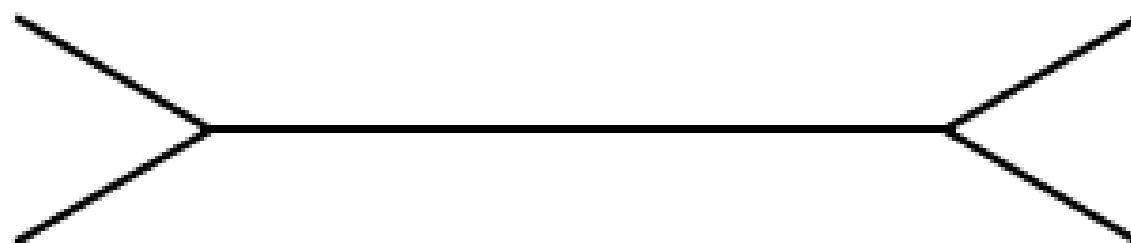
<山折り>



←比較刺激はこちら側から出す

標準刺激：150°

<山折り>



<山折り>

